

◆ 被覆アーク溶接実習(1班27~31日、2班 20~24日)

被覆アーク溶接では、保護具の着用方法、溶接機の使用前点検方法を学び、実技訓練ではビード置きの練習から始まり、突合せ、角、重ね、隅肉の各溶接方法を繰り返し訓練します。



■ S・Y君
実習の中で、感電や火傷、眼炎など様々な危険を学び、あらためて普段行っている指差呼称や作業前点検がいかに重要なのかを再認識することができました。



指導員の作業を観察し、安定したアークの発生状態を目(アーク長)と耳(溶接音)で覚えます。

◆ 11日(土) ボランティア活動(富谷市)

富谷市を起点として自然再生活動などを行っているNPO法人SCRさんのイベント「里山再生プロジェクト」に参加しました。竹林の伐採や茶畑の雑草取りなどをお手伝いし、一緒に参加していた地元の方々や社員の皆さんと交流をすることができました。貴重な体験の機会を与えていただいた総務部地域共生推進Gの植松CXありがとうございます。



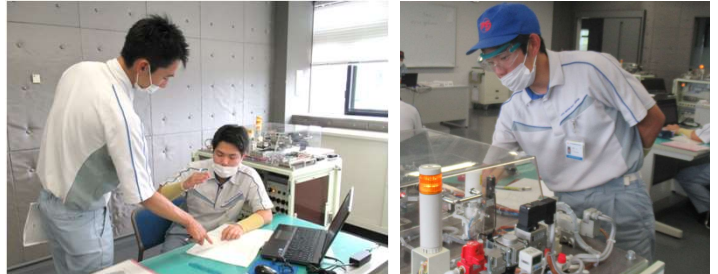
■ S・Y君
学園生として初めてボランティア活動に参加して、(直接的に)地域に貢献できたことを実感しました。今回感じた前向きな気持ちを忘れずに今後の学園生活に活かしていきます。



大きな杉の木の倒木作業もお手伝いし、普段ではできない貴重な経験ができました。

◆ PLC基礎実習(1班13~17日、2班 6~10日)

PLC基礎実習では、PLCの取扱い、パソコンを使用しているプログラミングの方法を学び、エアシリンダ等のアクチュエータの動作制御、モータの正転逆転制御など、より工場の設備に近い制御回路を学びます。



制御回路設計では訓練生同士で知恵を出し合うことで、柔軟な発想力が身についていきます。



■ S・T君
以前PLCを使用した経験があったので特に苦手意識もなく取り組むことができました。(元企業に戻っても) PLCの知識・技能は重要になるので、さらに向上していきたい。

◆ 24日(金) 濱口学園長との英会話教室

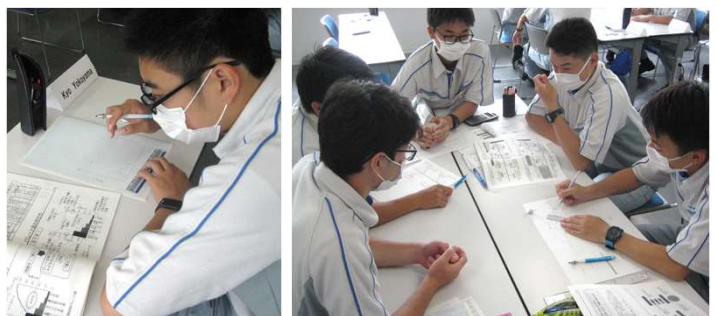
今月10日に学園長による講話で今後どれだけ英語が大事になってくるのかを話していただき、今回は学園長自ら訓練生と直接英語で会話をし、より実践的な英語教育となりました。



今年度はDVD教材を使用して英語を学んでいますが、実際に「会話」をしてスキルアップ!

◆ 学科(QC)

学科で学んだ「QC7つ道具」などを駆使して、自分たちが学園生活の中で困っている事、問題点を洗い出してテーマを設定。4~5人のチームを組みQCストーリーに沿って活動を進めて、最後には発表会を行います。



見た人に伝わりやすくすることを意識しながら、活動結果をデカビラにまとめていきます。